



「滝山城跡 丘陵地の山城の保存と管理」

滝山城は丘陵地につくられた山城です。丘陵地のため、山地と比較して平地との標高差が少なく、関東ロームにおおわれているのが特徴です。そのため、城郭の曲輪を形成する平坦地が作りやすいことから、規模が大きな山城をつくることができたのでしょう。しかし、その反面では、丘陵地で標高差が少ないために、敵の攻撃に対するまもりが難しいことも課題であったでしょう。そのような観点から、丘陵地につくられた山城の保存と管理の問題を考えてみたいと思います。

講師 亀山 章 さん (東京農工大学 名誉教授、東京都「滝山城跡 (都立滝山公園) 保存活用計画検討委員会」委員長)

(講師略歴)

東京大学農学部農業生物学科卒業後、厚生省国立公園局技官、信州大学農学部助教授・教授を経て東京農工大学農学部教授。専門分野(造園学、景観生態学、地域計画学、環境緑化学、森林科学)。現・文化財指定庭園保護協議会会長、公益財団法人 日本自然保護協会理事長。

日時 令和5年(2023)7月30日(日) 13時30分~15時30分
会場 八王子市加住市民センター・多目的室 (八王子市加住町 1-338)

受講料 500円(資料代)
募集 90名(応募者多数の場合は抽選。但し、当選者の半数は八王子市民。)
申し込み 往復はがきに、「歴史講演会」、氏名(フリガナ)、住所、年齢、電話番号を、返信用に申込者の宛名を書いて、〒192-0902 八王子市上野町 109-21 八木正範 宛に、7月14日(金) 必着で送ってください。(はがき1枚で1名)

主催 NPO法人 滝山城跡群・自然と歴史を守る会
〒192-0003 八王子市丹木町 2-196-4
電話 090-4700-6854 (尾熊)

後援 多摩部の公園パートナーズ(東京都立滝山公園指定管理者)、滝山城跡文化協会。



(滝山城鳥観図)